

なぜ、アブソーププラスのリネン商品は、世界30か国以上で利用されるようになったのですか？

アブソーププラスは、もともと福祉先進国・カナダの、医療・介護向け商業ランドリー企業でした。高い耐久性・デザインが要求される医療・介護現場で激しい競争にさらされたことが、高品質のリネン商品を生みだすきっかけになりました。さらに、その評判は国内のみにとどまらず、カナダから近い北米・欧州、そして、豪州・ニュージーランド・南アフリカなどの英語圏を中心に広まっていったのです。

近年、多くの先進国では、看護師・介護士が不足し、高齢者介護は大きな課題となっております。アブソーププラスでは、そのような各国の医療・介護現場の要望を汲み取り、現場の声に寄り添ったリネン商品を開発し続けた結果、世界30か国で利用される商品が完成しました。

なぜ、アブソーププラスのリネン商品は、他社製のものに比べて、生地が厚く高級感があるのですか？

医療・介護現場の声に寄り添った商品づくりを進めるなかで、価格の安さ・耐久性に万全を期すことはもちろんですが、多くの患者さん、特に高齢者の方に必要なことは、子供向けの商品ではなく、高齢者としての尊厳、プライドを保つことでもであると気づきました。

そのためにあえて、洗濯・乾燥には手間がかかりますが、生地の厚さ・高級感を出した商品を開発・提供させていただいております。

どうして、アブソーププラスの商品では、防水機能に3層構造を採用しているのでしょうか？

過去のリネン商品の開発段階では、乾燥が早いほうが良いという理由から、2層構造の防水シーツを開発してきた時代もありました。

しかしながら、2層構造ではどうしてもポリウレタンが直接洗剤に触れること、また、乾燥機でのダメージが大きいため耐久性にも問題が残りました。加えて、2層の表と裏の収縮率の違いから防水シーツが反りあがってくるという問題を解決するためにも、アブソーププラスの防水シーツは3層構造にこだわっています。

アブソーププラスのリネン商品は、どうして、何度も洗っても品質の低下が少ないのですか？

商業ランドリー企業からスタートしたアブソーププラスは、医療・介護現場での洗濯に耐えるためには、一般のリネン商品とは異なる耐久性が必要であることに気づきました。

その実現のため、原料の調達時点、そして縫製、出荷前検品のすべての過程で綿密なチェックを行うと同時に、常に研究所内での洗濯・乾燥テストを行い、商品の信頼性を高める努力を日夜続けています。

アブソーププラスの商品のデザインや色は、どうして、落ち着いた雰囲気なのですか？

以前は、福祉先進国の北米やヨーロッパでも、介護用品は通常のものより品質が落ちる品物を使っていました。また、デザインや色も、幼児が使うもので代用していたこともありました。

しかし、高齢者の方や患者さんの立場を考えたときに、そのようなデザイン性の低いものを使うことは利用者を侮辱しているのではないかという意見が多くなり、高齢者・患者さんに合ったデザインを追求した結果、現在のデザインとなりました。

今後も利用者の皆様の要望に応えられる、デザイン・商品開発を継続していきます。

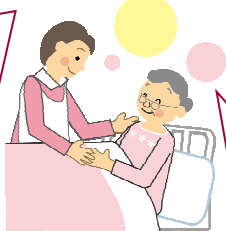
なぜ、アブソーププラスの商品の縫製は、全てロックステッチを使っているのですか？

アブソーププラスは、もともと商業ランドリー企業としてスタートした企業です。ですから、リネン商品の耐久性がどこからもっとも傷みやすいか知り尽くしています。

すばり、リネン商品の弱点は、縫製部分です。アブソーププラスでは、商品の縫製には万全を期し、特殊なミシンを導入することにより、より手間と時間がかかるロックステッチをすべての商品に採用しています。

アブソーププラス

Q&A



アブソーププラスの商品は、どうして、高品質にも関わらず価格が抑えられているのでしょうか？

アブソーププラスは、35年以上の長期に渡ってリネン商品の開発・製造を続けてきました。そのため、多くの原料供給メーカーとのネットワークがあります。大量の生地の中から、最も高品質・低価格で耐久性も高いものを見極めるため、日夜、洗濯・乾燥のテストを24時間体制で行っています。さらに、カナダと中国の工場では、厳しい品質管理のもと、熟練した職人が製造工程に従事しています。

このようにして、高品質と低価格の両立が可能となっているのです。

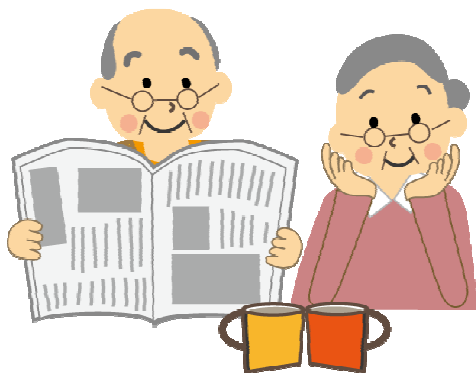
なぜ、アブソーププラスの商品は、「チェアパッド」など、使う人の立場から考えられているのでしょうか？

アブソーププラスでは、常に現場の意見に耳を傾けるようにしています。福祉の先進国であるカナダ・イギリスでの活用事例を参考にすると同時に、医療・介護現場に従事する方にとって使いやすく、洗濯・乾燥・整理がしやすいリネン資材の開発を目指しています。

なぜ、アブソーププラスの商品は、アイロンが不要な商品ばかりなのでしょう？

現在世界中で、原発問題も含めて、エネルギー不足が深刻化しています。アイロンは確かにリネン品の見た目は良くしますが、多くの燃料を使います。また、アイロンでできたシワは、褥瘡（じょくそう）にも良くありません。さらに、アイロンを不要にすることで、洗濯・乾燥にかかる作業の手間を省くことができます。

このような事情から、アブソーププラスでは、「未来の」リネン商品の開発のためにすべての商品をアイロン不要としています。



アブソーププラス Q&A

なぜ、アブソーププラスのフィットシートはニット製なのでしょう？

長年リネン製造に携わるなかで、介護の世界では、やはり褥瘡（じょくそう）という問題が大きな課題でした。また、近年の新たな課題として、エネルギーの節約が大きな社会的問題になっていることが挙げられます。

アブソーププラスでは、このような課題をいち早く解決しうる素材として、ポリ・コットン製のニットを提案し、自社のフィットシートの素材として採用しています。

どうして、アブソーププラスのフィットシートは、ゴムを縫いこんであるのでしょうか？

これまで、フィットシート（ボックスシート）といえば、コットンシートにゴムを通した商品が主流でした。しかし、乾燥とアイロンを繰り返す病院や高齢者施設では、ゴムの耐久性に不安が残ります。

そこで、アブソーププラスでは、アイロン不要のフィットシートに直接ゴムを縫い込むことでその耐久性が担保されるという結論に達し、ゴムを予め縫い込んだフィットシートを開発しました。